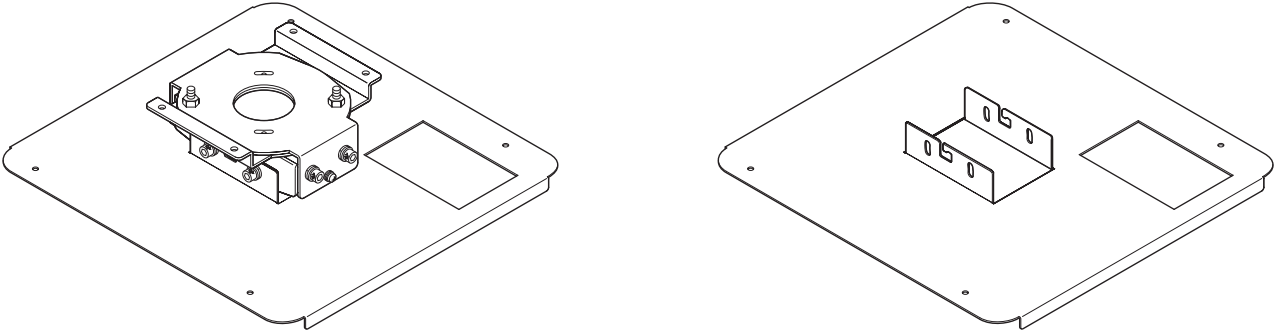
取扱説明書

DLA-X3 / X7 / X9 専用

ホームシアター用天吊金具　型名 EF-HT13

天吊金具用ベースプレート (EF-HT12 オプション)　型名 EF-BP2

お買い上げありがとうございます
ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
設置工事は、必ず販売店または工事専門業者にご依頼ください。

仕様

型名	：EF-HT13 (EF-BP2 は本体取付プレート単品)
用途	：DLA-X3/X7/X9 専用天井取付金具
ティルト可変範囲	：垂直 ＋ 6 ° ～ － 12 ° 、水平 ± 7.5 °
水平パン可変範囲	：± 5 °
質量	：4.8 kg (EF-BP2：2.5 kg) (DLA-X7/X9 取付時：19.9 kg、 DLA-X3 取付時：19.5 kg)
外形寸法 (横幅 × 高さ × 奥行)	：387 mm × 100 mm × 390 mm (プロジェクター取付時：455 mm × 255.5 mm × 477 mm)
添付物	：十字穴付きナベねじ (M5 × 40) 4 本、取扱説明書 (本書)、保証書

・仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

寸法図

（単位： mm）

安全上のご注意

ご使用になるかたや他の人々への危害や損害を防ぐため、必ず守って頂きたいことを説明しています。

 警告　「人が死亡、または重傷を負うことが想定される」内容

注意　「人が障害を負ったり、物的損害が想定される」内容

絵表示の説明

注意、警告が必要なこと 一般的注意

禁止されていること 禁止

警告

 禁止
専門の知識や技術のないかたは設置工事をしない
専門の知識や技術が必要です。設置工事は必ず販売店にご依頼ください。専門の知識や技術のないかたが行うと、けがや事故の原因になります。

 禁止
通風孔をふさがない
内部に熱がこもり、火災の原因になります。

 禁止
振動する場所への天吊り設置はしない
振動により取付部分が破損し、落下して、けがや事故になります。

 禁止
排気孔にエアコンなどの風を直接あてない
内部に熱がこもり、火災の原因になります。

 一般的注意
天井の強度が不足している場合は、補強を行う
補強を行わないと、けがや事故の原因になります。

 禁止
梱包に使用していたポリ袋などは、小さなお子様の手の届くところに置かない
頭からかぶると、窒息の原因になります。

注意

 禁止
ぶら下がったり、ゆすったり、物を引っかけたりしない
過度の荷重がかかり、落下して、けがや事故の原因になります。

 禁止
湿気やほこり、湯気、油煙のあたる場所に設置しない
油や水分、ほこりなどに電気が流れ、火災や感電の原因になります。

 禁止
取付対象機種の天吊り以外には使用しない
天吊り金具以外の用途や取付対象機種以外の天吊りに使用すると、けがや事故の原因になります。

 一般的注意
ランプやフィルターを交換するときは安定な足場を作って行う
不安定な足場や無理な体勢で交換を行うと、けがや事故の原因になります。作業が行いにくい場合は、取付業者に依頼してください。

 一般的注意
ボルトやねじは確実に取り付ける
落下して、けがや事故の原因になります。

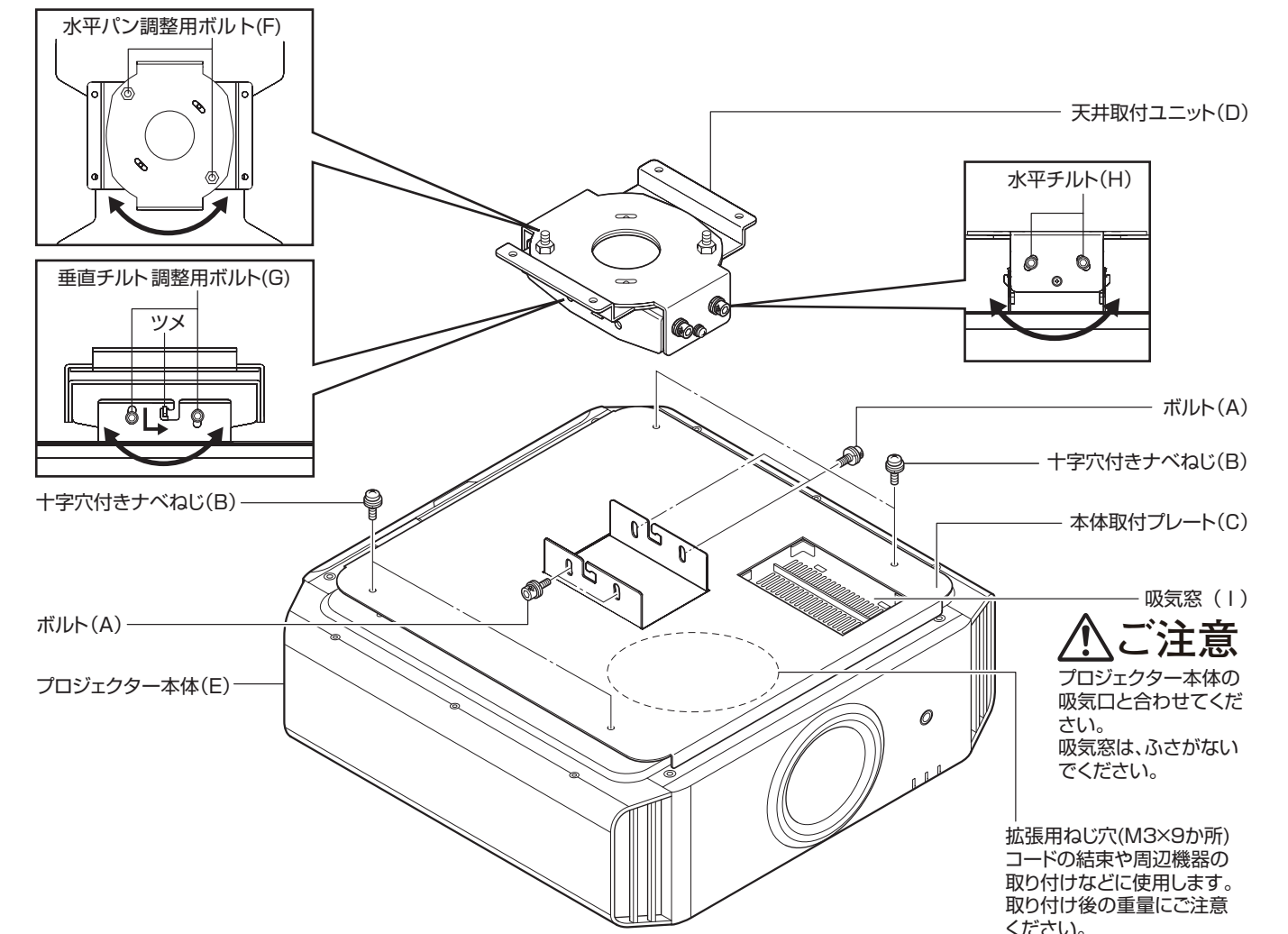
 禁止
改造しない
落下して、けがや事故の原因になります。

日本ビクター株式会社

LCT2657-001B
0910TTH-SW-SHINEI

プロジェクターとスクリーンを設置する

プロジェクターとスクリーンを設置します。プロジェクターとスクリーンを直角に設置してください。
直角に設置しないと、映像が台形にひずみます。

プロジェクターを設置する

プロジェクターに EF-HT13 を取り付ける

① プロジェクターとスクリーンの設置する位置を決める
・「設置について」を参考にしてください。

② ボルト（A）4 本をはずし、本体取付プレート（C）から天井取付ユニット（D）を取りはずす

③ 天井取付ユニット（D）を取付用ボルト 4 本を使用し、天井に取り付ける
・取付用ボルトは別売品です。天井への取付についてはお買い上げ販売店にご相談ください。

④ プロジェクター本体（E）からフット 4 個をはずす

⑤ プロジェクター本体（E）に十字穴付きナベねじ（B）4 本を使用し、本体取付プレート（C）を取り付ける
・吸気窓（I）をプロジェクター本体の吸気口と必ず合わせてください。本体プロジェクターの吸気が正常にできなくなると故障の原因となります。

⑥ 手順⑤による組立品をボルト（A）4 本を使用し、天井取付ユニット（D）に取り付ける
・天井取付ユニットのツメと本体取付プレートの溝を合わせてください。

⑦ プロジェクター本体（E）にケーブル類を接続する

⑧ 調整用ボルト(F)(G)(H)10 か所をゆるめ、プロジェクター本体（E）とスクリーンを直角に合わせる
・調整後は、調整用ボルトを回し、しっかりと締めてください。

⑨ 投写映像を上下反転する
・プロジェクターの取扱説明書「設定」メニューの「設置スタイル」をご覧ください。

⑩ 投写映像がスクリーンの中心にくるように調整する
・プロジェクターのリモコンを使用し、調整してください。

EF-H12 に EF-BP2 を取り付ける

⚠ご注意 EF-HT12 に DLA-HD350/550/750/950 を取り付けたときの重量は 14.6 kg です。EF-BP2 を取り付けて DLA-X7/9 を取り付けると、重量が 19.9 kg に増えます。（DLA-X3 の場合は 19.5 kg です。）取り付け場所の強度を確認してください。

①「プロジェクターに EF-HT13 を取り付ける」の⑤から⑦の手順を逆にして、EF-HT12 に付いている本体取付プレートをはずす

② EF-BP2 を「プロジェクターに EF-HT13 を取り付ける」の⑤からの手順で取り付ける

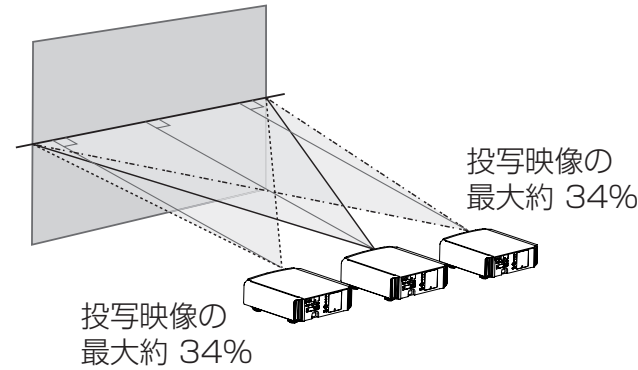
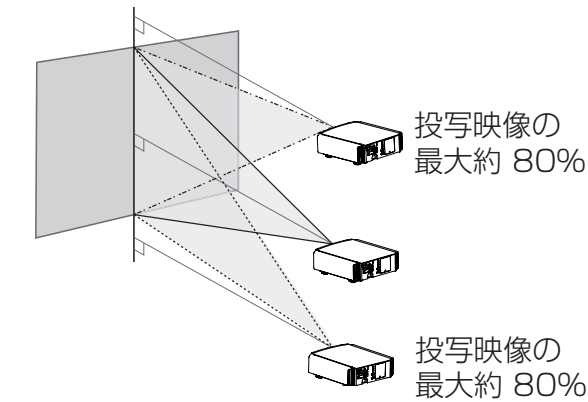
設置について

画面サイズと投写距離

投写画面サイズ（対角線の長さ） アスペクト比 16：9 の場合	おおよそ投写距離（L） W (ワイド端) ～ T (テレ端)
60 型（約 1.52 m）	(約 1.78 m) ～（約 3.66 m)
80 型（約 2.03 m）	(約 2.40 m) ～（約 4.89 m)
100 型（約 2.54 m）	(約 3.01 m) ～（約 6.13 m)
120 型（約 3.05 m）	(約 3.62 m) ～（約 7.36 m)
140 型（約 3.56 m）	(約 4.23 m) ～（約 8.60 m)
160 型（約 4.06 m）	(約 4.84 m) ～（約 9.84 m)
180 型（約 4.57 m）	(約 5.45 m) ～（約 11.07 m)
200 型（約 5.08 m）	(約 6.06 m) ～（約 12.30 m)

・上記表の投写画面サイズと投写距離は、めやすです。

シフト

■ 左右の位置
＊上下の位置は 0%（中央）

■ 上下の位置
＊左右の位置は 0%（中央）

■ レンズシフトの相関表

左右シフト量 (%)	0%	10%	20%	30%	34%
上下シフト量 (%)	80%	66%	47%	18%	0%

● 左右のシフト量により上下の最大シフト量が変わります。
また、逆に上下のシフト量で左右の最大シフト量が変わります。

● 表およびグラフ中の数値はめやすです。設置するときの参考としてご利用ください。

■ レンズシフトの移動範囲